

# 電子メディアに関する講習会「ケータイ出前講座」の開催

実施主体：広島県広島市教育委員会  
 協力団体：広島県広島市電子メディア協議会

## 《取組の概要》

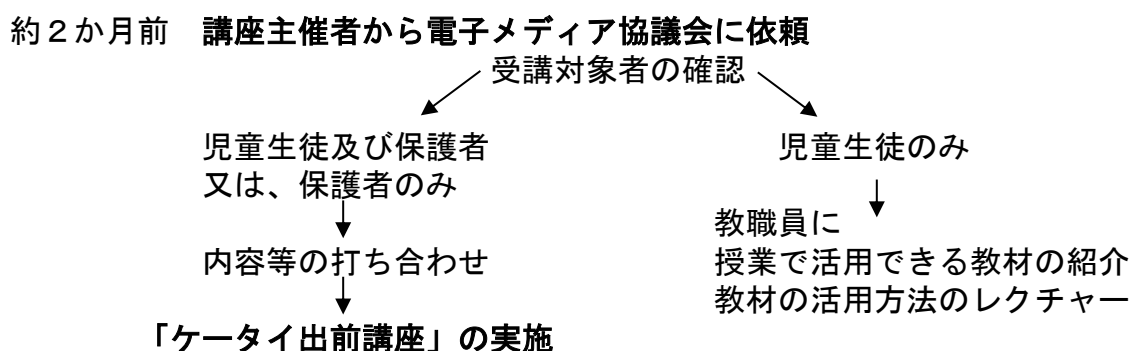
小・中学校やそのPTA、地域の各種団体等からの要望で、電子メディア協議会から派遣された電子メディア・インストラクターが、保護者や教職員、児童生徒などを対象に、子供たちのネット遊びの現状やインターネットのメディア特性と危険性、保護者の果たす役割と期待などの内容で講習会を実施する。

## 1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

急速な情報化の進展は、子どもを取り巻く環境を大きく変化させ、電子メディアの長時間の視聴により基本的な生活習慣の形成への阻害をもたらしたり、インターネットを介して犯罪に巻き込まれるきっかけとなったりするなど大きな問題を生み出しており、携帯電話やテレビなどの電子メディアと子どもたちとの健全なかかわり方が重要な課題となっている。

このため、本市では「青少年と電子メディアとの健全な関係づくりに関する条例」を制定し、条例の目的を達成するために、青少年、保護者等、事業者及び市民に対し、青少年と電子メディアとの健全な関係づくりのための知識の普及、情報の提供、学習の機会の提供、その他啓発活動を推進することとした。

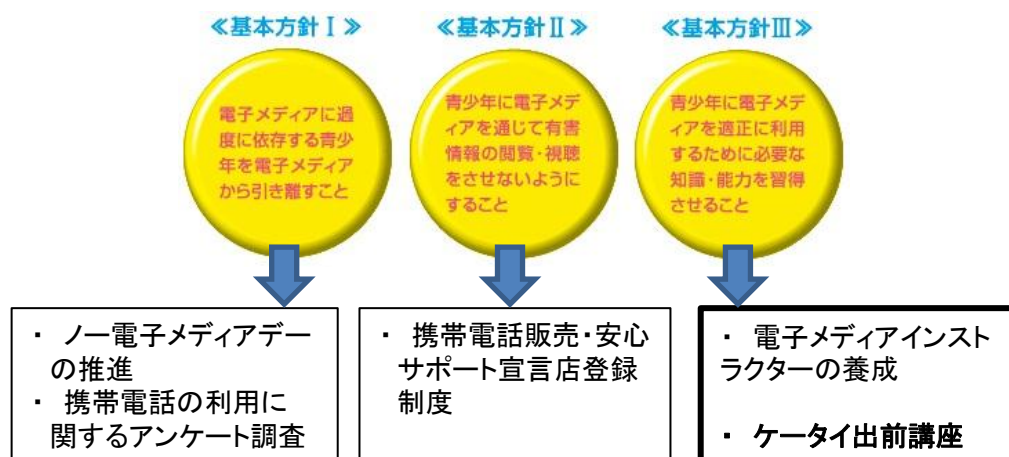
## 2 実施スケジュール



## 3 事業展開

### 「広島市青少年と電子メディアとの健全な関係づくりに関する条例」(平成20年3月制定)

条例に示されている3つの取組の基本方針に沿って事業を実施



## 4 事業の成果

### 「ケータイ出前講座」参加者の感想

- ・無料ゲームサイトの登場により新しい落とし穴ができたということ、初めて知ることができました。
- ・ジュニア携帯のため、「持たせっ切り」になっていることに、気付かされました。
- ・私はケータイでメールやテレビ、ゲームなどいろいろできるから早く欲しくてたまりませんでした。けど、家にあるテレビやゲーム、電話で十分だと思いました。(小学生)

### ○「ケータイ出前講座」開催回数・参加人数

H21年度(2009年度)	30回	2,532名
H22年度(2010年度)	48回	3,285名
H23年度(2011年度)	48回	9,092名
H24年度(2012年度)	33回	5,885名
H25年度(2013年度)	92回	13,208名

### ○電子メディア・インストラクター認定者数

H20年度(2008年度)	合計	11名
H21年度(2009年度)	合計	24名
H22年度(2010年度)	合計	51名
H23年度(2011年度)	合計	63名
H24年度(2012年度)	合計	96名
H25年度(2013年度)	合計	121名

「ケータイ出前講座」は平成21年度から開催しており、開催回数・参加人数が大きく増加している。講座に派遣する「電子メディア・インストラクター」の認定者数も年々増加し、学校やPTA、地域の各種団体に認知されつつある。



## 5 事業を成功させるためのポイント

- ・電子メディア・インストラクターが、保護者などを中心に構成されていること。
- ・「ケータイ出前講座」への派遣が、当該学区(中学校区単位)あるいは同区内のインストラクターを原則としていること。

これらのことから、保護者、地域の力を学校の取組で活用することができ、学校間の連携やPTA協議会等を通じて活動が広まる。

## 6 今後の展開(継続・発展させていくために)

電子メディアの世界は日進月歩で、新しい情報は止めどなく溢れ出ている。とりわけ、スマートフォン等の新たなインターネット接続端末の危険性等、常に新しい情報を取り入れながら、今後も、講座主催者との意見交換を重ね、参加者の年齢層や立場なども考慮して、パワーポイントを使った説明型の講習会から、親子の絆をつくる「コーチング」や徹底的にしゃべり合う「しゃべり場」などの受講者参加型の内容を増やしながら進めていく。



## 7 参考資料等

広島市電子メディア協議会 | facebook  
<https://ja-jp.facebook.com/hiroshima.denme>